

第1回 山口地域の県管理河川における大規模氾濫に関する減災対策協議会

日 時：平成29年5月30日（火）13:30～14:30

場 所：山口市役所3階 第11会議室

出席者：山口市長（副市長代理出席）、下関地方気象台長（次長代理出席）、山口県危機管理監、山口県防府土木建築事務所長

【開催状況】



【決定事項】

- ・山口地域の県管理河川における大規模氾濫に関する減災対策協議会が設立された。併せて、設立趣旨及び規約について承認された。
- ・協議会で掲げる5年間で達成すべき減災目標を『施設では防ぎきれない大規模水害に対し、山口市、下関地方気象台及び山口県が連携して県管理河川の河川特性を踏まえたソフト対策に取り組み、「逃げ遅れゼロ」を目指す。』とし、目標達成に向けた取組項目を定めた。

【主な発言要旨】

- ・ホットライン構築に向けて幹事会以降、調整がなされており、6月から運用開始したいと考える。（防府土木建築事務所長）
- ・地域の取組方針の検討にあたっては、担当レベルで調整させて頂きたいと考えている。（防府土木建築事務所長）
- ・上記2点について了解した。連携して取り組みたい。（山口副市長）
- ・5月28日に下関市で開催した県の総合防災訓練において、今までの訓練では炊き出し業務が主であった自主防災組織に、様々な防災活動の訓練を行っていただいた。この訓練から、協議会が目指す「逃げ遅れゼロ」を実現するためには、災害時の初動対応を担う自主防災組織は重要であり住民の協力が必要であると認識されたことから、今

後、市が主導して自主防災組織の防災訓練等を行っていただきたい。(山口県危機管理監)

- ・引き続き、防災訓練・防災学習等の取組を推進していきたい。(山口副市長)